



【育苗管理のポイント】

- 播種量は**乾粃 120g/箱**を徹底し、健苗育成に努めましょう。
- 育苗日数は17~21日**を目安とし、老化苗を防ぎましょう。
- 浸種期間は、「**コシヒカリ**」に比べて**1~2日長く**しましょう。

1 育苗計画

- 浸種及び播種日は、田植予定日にあわせた適正な時期とし、健苗育成に努めましょう(表1・図1)。
- 育苗日数が長い老化苗を移植すると、初期分げつの発生が少なくなります。活力の高い苗に仕上げるため、**育苗日数は17~21日程度**を目安としましょう。

表1 育苗計画の目安

浸種日	播種日	田植日	育苗日数
4/7頃	4/19頃	5/10	21日
4/16頃	4/26頃	5/15	19日
4/23頃	5/3頃	5/20	17日

※密苗では、慣行に比べて浸種及び播種を4日程度遅く行いましょう。

2 浸種

- 「富富富」は、「コシヒカリ」に比べて芽の伸長速度が遅いので、「コシヒカリ」より**1~2日長く浸種**しましょう。(水温×日数=積算温度:120℃が目安。浸種開始時の水温は適温(12.5℃)を確保しましょう。)

苗丈・第1葉鞘長は「コシヒカリ」の90%程度の長さ
葉齢は「コシヒカリ」と同程度を目標にしましょう!

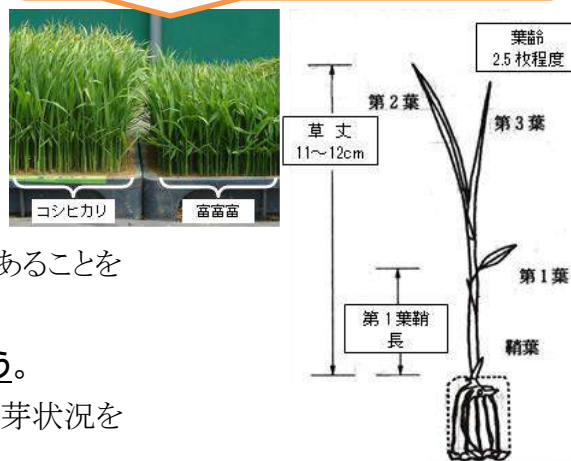


図1 目標とする苗の姿

3 播種~出芽

- 播種作業前に芽出し程度が「ハト胸」から2mm程度であることを確認しましょう。
- 播種量は乾粃 120g/箱を徹底し、健苗を育成しましょう。
- 育苗器の温度は**30℃が適温**です。こまめに温度や出芽状況をチェックしましょう。

4 搬出後の管理

- 育苗ハウス内に苗を搬出した際は、品種ラベル等を貼付け**区分管理を徹底**しましょう(写真1)。
- ハウス搬出後から、積極的に換気を行い、充実した苗質に仕上げましょう(表2)。
- 田植えの7~10日前からは昼夜ともに換気し、十分外気に慣らしましょう。



写真1: 品種名の表示

表2 育苗期間中の温度管理の目安

苗のステージ	緑化期	硬化期
育苗日数	2~3日	13~15日
温度	昼 25℃以下 夜 10℃以上	

春の農作業安全確認運動 3月1日~5月31日「徹底しよう! 農業機械の転落・転倒対策」

春の農繁期は農作業事故が発生しやすい季節です。農場や用水路の危険箇所の把握・改善や余裕をもった作業計画など、事故を未然に防止する対策を徹底しましょう。